

定水位弁 (FVバルブ) 関連商品 **製品記号**

DS11N-J□ (青銅製、AC100V)、DS11N-J□2 (青銅製、AC200V)
 DS11LN-J (管端コア取付可能)、DS16-D (ステンレス製)
 WS22N-F (青銅製、通電開)、WS22CN-F (青銅製、通電閉)
 WS25N-D (ステンレス製、通電開)、WS25CN-D (ステンレス製、通電閉)
 ※□内には定格電圧の記号が入ります。

定水位弁パイロット用電磁弁 (別途注文品)

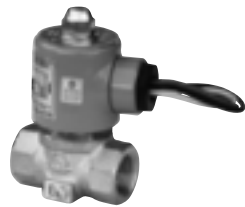
定水位弁のパイロットラインの圧力は給水時には極端に下降して、パイロット式の電磁弁では作動できないことがあります。定水位弁には対応表に示す電磁弁をご使用ください。

■定水位弁 (FVバルブ) 電磁弁型式対応表

定水位弁 (FVバルブ)		DS-11N, 11LN, 16型 (通電時弁開)	WS-22N, 25N, 40N型 (通電時弁開)	WS-22CN, 25CN型 (通電時弁開)
型式	呼び径			
LP-8N, 9N型	20~50	○	○	○
LP-8HN, 9HN型	65~100	×	○	○
LP-8AN, 8AHN型	20~50	○	○	○
LP-9N, 9HN型	65~100	×	○	○
LP-10, 10H型	20~50	○	○	○
WVL-02型	80~400	×	○	○
LP-8RN, 8ARN, 9RN型, 他社定水位弁		×	○	○

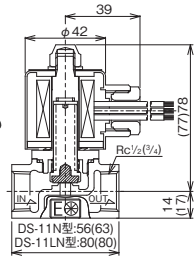
注. WVL-02型呼び径250以上は、WS-22N, 22CN型の呼び径25をご使用ください。
 他社定水位弁及び寒冷地用定水位弁に使用する場合はWS型とし、特に寒冷地での使用に当たっては、凍結破損を防ぐため、十分保温してください。ただし、コイル部分は保温しないでください。

DS-11N, 11LN, 16型 **■構造図**
 (通電時弁開)



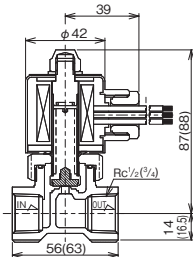
写真はDS-11N型です。

DS-11N, 11LN型



質量
 DS-11N: 0.6 (0.7) kg
 DS-11LN: 0.7 (0.8) kg
 ()内は呼び径20

DS-16型



質量: 0.6 (0.65) kg
 ()内は呼び径20

■仕様

水道法性能基準適合品

種類	本体青銅製	管端コア取付可能 ^{注1}	本体ステンレス製
型式	DS-11N型	DS-11LN型	DS-16型
製品記号	DS11N-J□	DS11LN-J	DS16-D
※□内には定格電圧の記号が入ります。			
呼び径	15・20		
適用圧力	0~0.75MPa		
材質	本体 (CAC)、要部 (SUS・FKM)		本体 (SCS)、要部 (SUS・FKM)
定格電圧	①: AC100V 50/60Hz AC100V 50/60Hz又は ②: AC200V 50/60Hz AC200V 50/60Hz専用		
定格電流	AC100V: 0.19A AC200V: 0.10A		
起動電流	AC100V: 0.57A AC200V: 0.29A		
保護構造	防塵、防滴形・屋内用 ^{注2}		
Cv値	0.45		

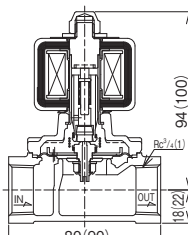
注1. DS-11LN型は管端コア内蔵品も製作しています。
 注2. 屋外で使用する場合はTB-03型シリーズ端子箱を併用してください。

WS-22N, 25N型 **■構造図**
 (通電時弁開)



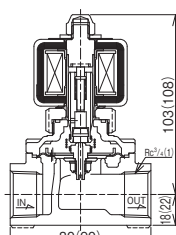
写真はWS-22N型です。

WS-22N型



質量: 1.1 (1.6) kg
 ()内は呼び径25

WS-25N型



質量: 1.3 (1.8) kg
 ()内は呼び径25

■仕様

水道法性能基準適合品

種類	本体青銅製	本体ステンレス製
型式	WS-22N型	WS-25N型
製品記号	WS22N-F	WS25N-D
呼び径	20・25	
適用圧力	0~1.0MPa (コイルが水平の場合は0.03~1.0MPa)	
材質	本体 (CAC)、要部 (SUS・NBR) 本体 (SCS)、要部 (SUS・NBR)	
定格電圧	AC100V 50/60Hz AC200V 50/60Hz共用	
定格電流	AC100V: 0.26A AC200V: 0.13A	
起動電流	AC100V: 0.76A AC200V: 0.38A	
保護構造	防塵、防沫形 (IP54相当)・屋内用 ^{注2}	
Cv値	呼び径20: 7、呼び径25: 10	

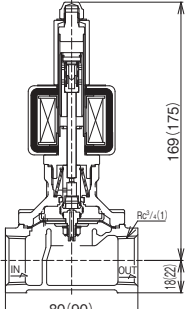
注1. 他の特殊電圧はお問い合わせください。(コイル形状、仕様異なります。)
 注2. 屋外で使用する場合はTB-03型シリーズ端子箱を併用してください。
 なお、端子箱付は専用電圧となり、TB-03型端子箱付の場合は防雨形 (IP03相当)、TB-03C型端子箱付の場合は防塵・防沫形 (IP54相当) となります。

WS-22CN, 25CN型 **■構造図**
 (通電時弁閉)



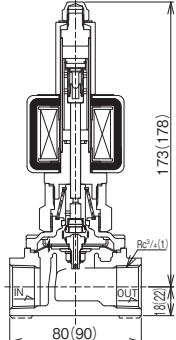
写真はWS-22CN型です。

WS-22CN型



質量: 1.5 (2) kg
 ()内は呼び径25

WS-25CN型



質量: 1.7 (2.2) kg
 ()内は呼び径25

■仕様

水道法性能基準適合品

種類	本体青銅製	本体ステンレス製
型式	WS-22CN型	WS-25CN型
製品記号	WS22CN-F	WS25CN-D
呼び径	20・25	
適用圧力	0~1.0MPa (コイルが水平の場合は0.03~1.0MPa)	
材質	本体 (CAC)、要部 (SUS・NBR) 本体 (SCS)、要部 (SUS・NBR)	
定格電圧	AC100V 50/60Hz AC200V 50/60Hz共用	
定格電流	AC100V: 0.35A AC200V: 0.18A	
起動電流	AC100V: 1.30A AC200V: 0.65A	
保護構造	防塵、防沫形 (IP54相当)・屋内用 ^{注2}	
Cv値	呼び径20: 7、呼び径25: 10	

注1. 他の特殊電圧はお問い合わせください。(コイル形状、仕様異なります。)
 注2. 屋外で使用する場合はTB-03型シリーズ端子箱を併用してください。
 なお、端子箱付は専用電圧となり、TB-03型端子箱付の場合は防雨形 (IP03相当)、TB-03C型端子箱付の場合は防塵・防沫形 (IP54相当) となります。

資料/電磁弁

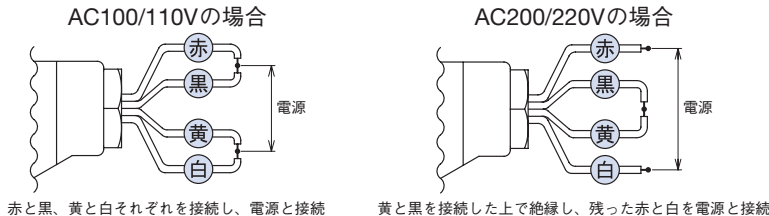
注意
設置時やそれに関する注意事項は、それぞれ別に用意された取扱説明書をご覧ください。

■コイルの結線方法

電磁弁の定格電圧は仕様欄にありますとおり、型式ごとに異なります。電源との接続に当たっては電源電圧が合致することを確認の上ご使用ください。

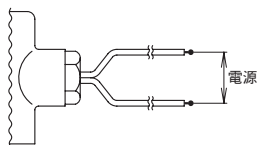
《共用電圧コイル》

●コイルのリード線は4色に色分けしてありますので、使用電圧により右図のように結線し、結線部は必ず絶縁処理を施してください。



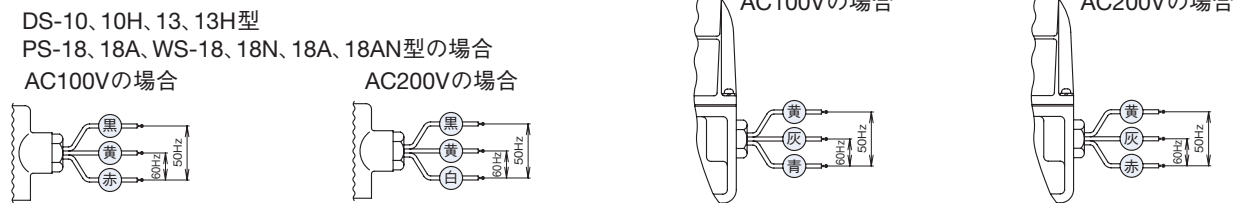
《専用電圧コイル・特殊電圧コイル》

●コイルのリード線は2本となってますので、この2本に電源を結線し、結線部は必ず絶縁処理を施してください。



《周波数選択コイル》

●コイルのリード線は3本となってますので、各型式ごとに表示してあります（製品に表示）選択方法で結線してください。余った線1本は絶縁テープなどで絶縁処理してください。



端子箱 (別途注文品)

電磁弁専用の端子箱で、電磁弁リード線出口にねじ込んで使用します。電源線とリード線との結線部分を、雨水の浸入や埃から保護します。

TB-03型シリーズは、ケーブルや電線管を使用した屋外用にも使用します。

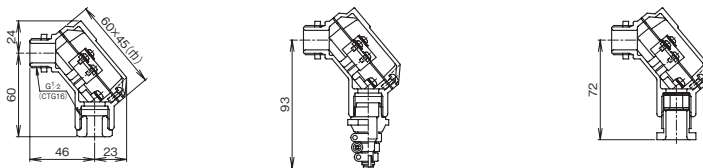


注. 端子箱付は専用電圧となります。なお、端子箱付、又は単品でご注文の際は、電磁弁の型式、呼び径、電圧、周波数をお知らせください。(コイルの種類により付属品が異なります。)

■TB-03型シリーズ(屋内外用、金属製、防雨形)

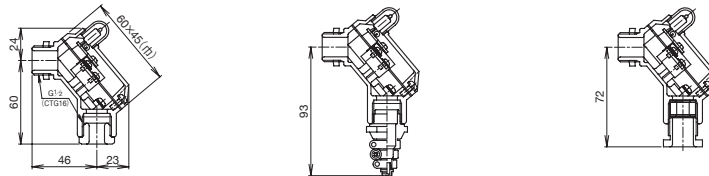
注. 霧田気湿度85%を超える場合はTB-03C型又はTB-03F型をご使用ください。
〈表示ランプなし〉電源定格 250V 15A

- TB-03型 (標準品) グランドナット付
- TB-03C型 キャプコン付
- TB-03F型 船用相当グランド付

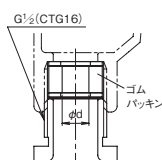


〈表示ランプ付〉 電源定格 AC100V又はAC200V
 表示ランプ付をご注文の際は電圧をお知らせください。

- TB-03L型 表示ランプ付
- TB-03LC型 ランプ+キャプコン付
- TB-03LF型 ランプ+船用相当グランド付

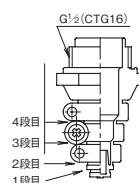


■グランドの仕様(TB-03F,03LF型)



グランドの呼び	d (mm)
15a	9
15b	10
15c	11

■キャプコンの仕様(TB-03C,03LC型)

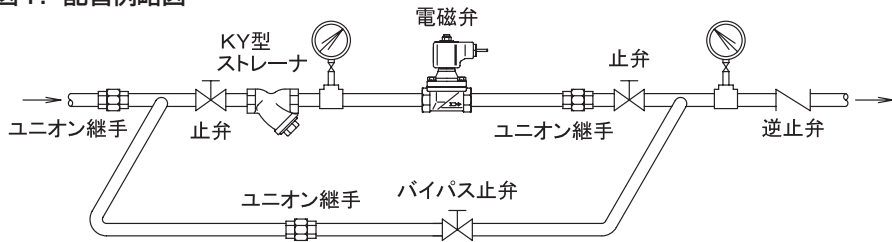


切断位置	適合ケーブル外径 (mm)
4段目	10~12
3段目	8~10
2段目	6~8
1段目	4~6

資料/電磁弁設置上のポイント

注意 設置時やそれに関する注意事項は、それぞれ別に用意された取扱説明書をご覧ください。

図1. 配管例略図



■選定、設置上のポイント

- 電磁弁の一次側にストレーナを取り付けてください。(図1参照)
※網目：国土交通省仕様は、電磁弁の前に設ける場合は80メッシュ以上。
- 運転を止められない装置の場合、電磁弁の一次側から二次側へのバイパス配管(止弁を設置)を設けてください。(図1参照)
また、バイパス配管を設置しない場合は、電磁弁の一次側止弁手前に主管から分岐したブロー用止弁を設置し、フラッシングができるようにしてください。
- 取付姿勢は、水平配管にコイルを上にした正立姿勢で取り付けます。(図2参照)
ただし、桃太郎シリーズ(PS/PF-16,17型を除くはん用タイプ)の呼び径50以下は水平配管にコイルを上にした正立から水平(真横)までの取付姿勢で縦配管にも使用できますが、弁前後の差圧が0.03MPa以上必要となります。(図2参照)
また、TB-03型端子箱付の場合、端子箱の電線挿入部が下向きとなるように取り付けてください。
- 電磁弁の二次側圧力が一次側圧力より高くなる場合は、弁閉できず逆流しますので、二次側には逆止弁を取り付けてください。(図3参照)
- 蒸気に使用する場合で、電磁弁が閉止した際に、二次側圧力が負圧となるような場合には、電磁弁の二次側に真空調整弁(バキュームブレーカ)を取り付けてください。(図4参照)
- 蒸気用の場合は、配管系にスチームトラップを取り付けてください。
- 流体が液体の場合、弁閉時のウォーターハンマ現象や周囲温度による熱膨張により、配管内が昇圧する場合があります。機器などの保護のためレリーフ弁を取り付けることを推奨します。また、ポンプの吹込み側に電磁弁を設置する場合、負圧による作動不良の原因となりますので、電磁弁を弁開状態の後、ポンプ起動となるシステムとしてください。(図5参照)
- コイルの結線には0.75mm²以上の電線を使用し、正しく結線してください。また、電気回路保護用として、ヒューズを入れてください。
- コイルは連続通電や断続を繰り返した状態ですと、表面が約70℃位まで温度上昇しますので高温には注意してください。(使用条件、型式により上昇温度は多少異なります。)
- 電磁弁は、流体の流れ方向と製品に示す流れ方向の矢印を合わせて取り付けてください。
- フランジ形を配管接続する際は、管フランジ接続用ボルト長さを推奨する場合がありますので、取扱説明書をご覧ください。
- 分解点検時には、スペースが必要です。必ずメンテナンススペースを確保してください。
※メンテナンススペースについては、製品個々の取扱説明書にてご確認ください。
- 電磁弁には、配管の荷重や無理な力・曲げ及び振動がかからないよう配管の固定や支持をしてください。
- 凍結の恐れがある場合は、水抜きや保温などをしてください。
ただし、コイル部分は保温しないでください。
- 長期間作動しない用途(緊急遮断弁や安全確保用バルブに使用する用途など)でご使用の場合、固着による作動不良の恐れがありますので、月に1回程度の作動確認を行ってください。

図2. 取付姿勢略図

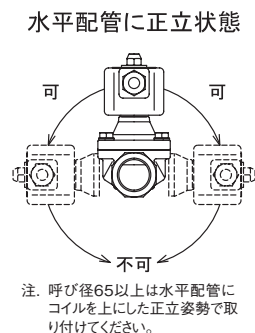


図3. 二次側立ち上がり配管

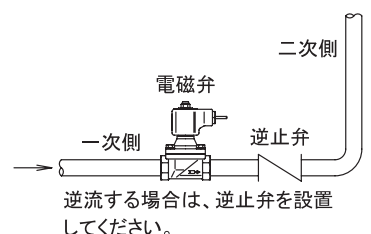


図4. 蒸気配管使用例略図

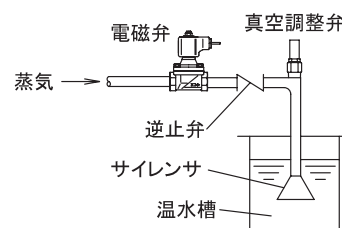


図5. レリーフ弁取付例略図

